

# 大阪狭山市 議会 我だより

編集・発行 議会だより編集委員会

- 代表質問.....②
  - フロンティアネット(田中 昭善)
  - 政友会(西尾 浩次)
  - 公明党(片岡 由利子)
  - 新風会(諏訪 久義)
  - みらい創新(鳥山 健)
  - 日本共産党議員団(北村 栄司)
- 個人質問.....⑥
  - 鷹田 育子(日本共産党議員団)
  - 徳村 賢(公明党)
  - 松尾 巧(日本共産党議員団)
  - 山本 尚生(政友会)
  - 林 憲一郎(みらい創新)
  - 丸山 高廣(フロンティアネット)
  - 中井 新子(フロンティアネット)
  - 小原 一浩(新風会)
- 議会改革.....⑩
- 委員会審査のあらまし.....⑩
- 表紙写真の募集.....⑪
- 議決結果一覧.....⑫

写真テーマ「グリーンカーテン」

# 一般質問

質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。

## 代表質問

### フロンティアネット

田中 昭善

#### 3期目に向けた

#### 財政の見通しについて

**問** 財政調整基金を取り崩すことなく、7年連続黒字決算となる。しかし、東日本大震災で、国は復旧・復興のための財源確保のため、地方財政にも大きな影響が予測される。

市長は45項目のマニフェストを掲げ、3期目の市政運営を担われる。

今後の財政状況と見通しについて伺う。

**答** 今後も公債費の償還、定年退職者数の急増によって、厳しい財政状況にある。

引き続き、財政運営フレームを基本とした財政運営を行い、市民との約束である今期のマニフェストに掲げた事業に着実に取り組み、安心して住み続けられる大阪狭山市をめざす。

#### 市の組織機構について

**問** 過去数回、市全体の組織見直しについて伺ってきた。

今日、権限移譲、地方分権等が進む中で、効率的、効果的な組織をつくり、市民の目線に立って、行政の縦割りにとらわれず、市民が求めるサービスに即した組織になるよう見直しを行っていかねばならないと考えるが、見解を伺う。

**答** 従来の事務執行型組織から政策推進型組織へ転換していくことが求められている。

本格的な地方分権時代の幕開けに伴い、将来を見据え、庁内の意見を集約しながら、本市にふさわしい組織機構を構築していきたい。

#### 災害に強いまちづくりについて

**問** 本年3月11日、千年に1度

とか、経験したことのない、大震災が東日本で発生した。近い将来、発生する確立が高いと言われる南海・南海地震が起きた場合、建物・ライフラインへの影響はどうか。

市内には、危険箇所も多く見受けられる。現防災計画の見直し、防災対策のさらなる強化が必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 東日本大震災を契機に、今後の国や府の方針を踏まえ、地域防災計画を修正し、防災対策の充実強化を図っていく。

#### 子どもの体力向上について

**問** 今年度から中学校の体育の時間に「武道」を導入、本市は剣道を取り入れるとのことである。

教育を進めるためには、知・徳・体のバランスの取れた取り組みが必要である。健康で、健やかな成長は誰もが望むことであり、その根本には健康な体づくりが必須である。

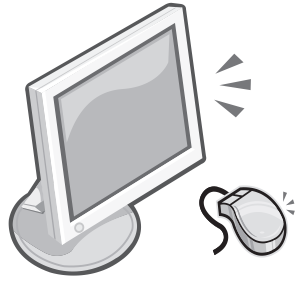
「子どもの健康」と「体力向上」について、本市教育委員会として、どのように捉え、考えているのか。また、今後の方針は。

**答** 小・中学校の体育の授業に、専門性のある体育指導支援員等を配置し、運動への意欲が高まるようにしている。また、全学級に長縄を配付し、本市独自のジャンプアップ大会を実施する。体力づくりは運動だけでなく、早寝、早起き、朝ごはん等の生活習慣によっても左右される。今後も家庭や地域と連携し、体力向上に向けた取り組みを強化していく。



## 本会議録画映像

⇒⇒ 配信中!



本会議での様子をインターネットで録画放映しています。(生中継ではありません。録画した映像を1週間程度で編集し、配信しています。)

大阪狭山市議会のホームページからアクセスして下さい。

代表質問

政友会  
西尾 浩次

### 平成23年度予算並びに今後のまちづくりと財政の見通しについて

**問** 平成23年度一般会計当初予算は、骨格予算で163億2,698万4,000円であるが、補正予算では5億6,607万9,000円を増額して、168億9,306万3,000円となる。財政状況が大変厳しい中で、昨年度より6億442万7,000円増えており、積極的な予算だと思うが、平成26年まで毎年多額の収支不足が生じる見込みで、これらを踏まえ今後のまちづくりをどのように考えるか伺う。

**答** 平成23年度の補正予算が平成22年度より6億強増えているのは、生活保護費と子ども手当などの扶助費で、義務的経費が大幅に増えており、投資的な経費は相変わらず少ない。厳しい状況が平成26年度までつづくが平成24年度は公債費、借金が25億円の返済があるが、平成27年度には17億に減り、約8億の余裕財源が生まれるので、平成26年度までの4年間は、議会、市民の皆さんと協力し合って財政健全化に努め、収入状況が固まった時点でもう一度財政運営フレームを見直して、新たな目標をつくり財政運営に努める。

### 通学路の交通安全対策について

**問** 大野台1丁目南交差点は、小・中学生の通学路になっており、近くには近畿大学医学部・医学部附属病院、コンビニ等があり、通学時間帯には交通量も多い。この交差点は、東西方向には歩行者用信号が設置してあるが、南北方向には歩行者用信号が無く、ライオンズマンション大阪狭山方向からの通学時に南から

北へ渡るには歩行者用信号がないため、小学校低学年の保護者から大変危険なので、歩行者用信号機の設置を望む声があるが。

**答** 黒山警察署に当交差点に南北方向の歩行者用信号の設置を要望し現地立会いしており、信号機の必要性を十分認識していただいている。優先度の高い順位で設置に向け検討するとのことである。



### 子どもたちから高齢者まで安心して生活できる施策の充実について

**問** ①平成22年3月議会において、安心してスポーツを楽しめる施設の充実について伺ったが、現在の経済情勢では新しい施設の設置は、大変難しく現存する各施設を有効に活用できるように検討するとの答弁であったが、その後の検討結果について伺う。②高齢者の運転免許証の自主返納支援についても平成22年3月議会において伺ったが、その後の検討結果について伺う。

**答** ①市立南青少年広場は地域の皆様に利用して頂くように、開放している。府立狭山水みらいセンターは自由に気軽にスポーツが楽しめる広場として活用できる。学校のグラウンドも気軽に使えるように工夫する。②循環バスの運賃を半額にするのは公平性の観点から困難である。

**要望** 高齢者の安全、命を守る為の施策の一つとして、また全体の交通安全対策にも大変大事なことだと思うので、積極的な取り組みをお願いする。

代表質問

公明党  
片岡 由利子

### 市長の所信表明をうけて

**問** ①環境負荷の無い乗り物である自転車や歩行者優先の計画的な道路整備について。②がん撲滅に向けた取り組みは、低迷する受診率を高める体制が必要である。③公民館や本庁舎の耐震補強の是非や長期計画について。④子育ては、近隣市と比較したきめ細かな取り組みが必要である。これら4点の所見を伺う。

**答** ①必要が生じた場合は、条例制定を考えていきたい。②近隣市の医師会に協議を申し入れる。③補強か建て替えかは、いろんな角度から進めたい。④乳幼児の検診待ち時間は、1グループ15分に改正した。育児休業中に保育所で預かる児童は、3歳までは保護者の状況で考えたい。

### 危機管理体制の再構築について

**問** ①被災者支援システムの導入について。②学校施設などの地域の避難場所における防災訓練の実施を。③液状化災害に対応したハザードマップの見直しを。

**答** ①最も費用対効果の高い導入方法を検討する。②発災対応型訓練は、大変効果的なものである。自主防災組織や地域関係機関と協働して実施する。③本市での液状化危険度は局所的で極めて低い。大阪府の動向を見極めながら対応する。

### 補助金助成事業の新設について

**問** ①住宅用太陽光発電システム設置費の助成を。②雨水利用タンク設置費の助成を。

**答** ①今後転換するエネルギー施策を見極めたうえで、対応したい。②府内市町村の動向を注視したい。

## 本市の保険医療体制の さらなる充実を

**問** ①子ども医療費助成制度の充実強化について、今後、大阪府の動向に合わせて、中学3年生までのさらなる拡大を。②高齢者医療体制の充実強化について、大阪府が保険者となったときに被保険者の声をどう反映するのか。③がん検診事業の拡充について、未受診者へ継続的な受診勧奨を。

**答** ①平成24年度から通院医療費の助成対象を小学校3年生まで拡大し、大阪府においては福祉医療制度全般にわたる制度のあり方が検討されており、その動きを注視する。②大阪府が保険者となった場合の運営方法は、明らかでない。③未受診者へアンケート調査や受動喫煙防止対策の推進と平成24年度に食育推進計画を策定予定である。

## 防犯カメラの設置について

**問** 通学路、公園トイレ付近やちかん等、事故発生箇所等に防犯カメラの設置を。

**答** 平成24年地域防犯活動を支援する補助制度を創設する。

## 大阪広域水道水（府営水）への 一本化について

**問** 既設水道管の供給能力の検証と災害時の水の確保について伺う。

**答** 送水システムは現在と変わらず、平成24年度当初より実施したい。飲料水として、少なくとも8千立方メートルは確保できる。



太満池北側にある浄水場

## 代表質問

## 新風会 諏訪久義

### 指定管理者の経営の透明化について

**問** 市が直接執行する行政分野においては、「最小の経費で最大の効果を挙げる」状況は判断できるが、市が直接には執行せず、「委託料」を支払って、事業者に執行を委託している分野、つまり、「委託料」を含む物件費が「最小の経費で最大の効果を挙げる」状況にあるかどうかは判断できる状況にない。

物件費は市の一般会計のうち、義務的経費を除けば、人件費に次いで支出割合の高い項目である。

現在導入している15施設の指定管理者について、指定管理者自身及び所管グループによる評価、モニタリングの内容を公表して頂きたい。

**答** 今後は、指定管理者制度のより適正な運営や、透明性の確保に向けて、ご提案いただいた指定管理者自身の自己評価のあり方や業務報告書の公表などの課題を整理し、モニタリングや評価の仕組みを再構築していく。

また、平成25年度の指定管理者の選定に向けて、指定管理者選定委員会の体制や指定管理者の選定基準、選定に関する情報提供のあり方などについても併せて検討していきたい。

**要望** 今後は、モニタリングや評価の仕組みを再構築していく、との答弁であるので、人員配置は適正なのか、官製ワーキングプアを生じていることはないか、会社が不当に多くの利益を計上していないか、等の一般市民の懸念が払拭されるよう、改善されるものと期待する。

以上は当面の話であるが、根本的に、平成25年度の指定管理者の選定に向けて、指定管理者選定委員会

の体制や指定管理者の選定基準、選定に関する情報提供の在り方などについても検討する、とのことで、本市も外部専門家による審査・報告制度の導入を含め、一層、行政の透明化が進展することをおおいに期待している。

### 市街地におけるあき地の清潔保持等 に関する条例の制定について

**問** 自治会や近隣の方々の注意を無視して管理不十分な駐車場や住人の庭があり、近隣の方々が迷惑している。それらを市が除草し、その除草代金を駐車場の所有者や、当該の住人に請求することができるよう、制度化する必要があると考える。

**答** 「大阪狭山市あき地の適正管理に関する指導要綱」に基づき適切に対応していることから、あき地の管理については、今後とも引き続き、苦情の内容や現地の状況に応じたきめ細かい指導などの対応に努めていきたい。

**要望** 市民はそのような要綱は知らず、街区の半分が空き家で、苦情があっても、どこに連絡したらよいか分からず、やむを得ず我慢している、という例がある。

そのような市民への対応として、市民は苦情をどの担当に申し出たらよいか、広報等で啓発に努めて頂きたい。手続きを知らないで、市に言うのを嫌がる方もいる。

市民の組織を活用して、市への手続き等が不要な仕組みを構築するよう要望する。



## 代表質問

### みらい創新

鳥山

たけし  
健

#### 円卓会議の条例化について

**問** 円卓会議は、市民自治につながる市民協働と考える。校区それぞれに地域特性があり、現行、予算措置が煩雑などの課題がある。市民がより自立的・主体的に活動できるよう、①条例化への工程及び予算のあり方、②支援窓口の体制について伺う。

**答** ①裁量権を持てるように、交付金化を検討するが、税金なので外部チェック機能が必要。三つの円卓会議と協議を始める。

②地域担当制で、それぞれの校区に担当者を配置。問題点・事業・予算等、行政内各部署と各円卓会議のコーディネートをする。

**要望** 地域担当者は、しばらく継続配置、三校区のネットワーク化と中間評価等公開と情報交流を進めて。

#### 市民顕彰制度について

**問** 表彰と顕彰は、功績を記録に留めるという点では同じだが、表彰は一時的であり、顕彰は持続的である点が違う。①表彰制度に、持続的な顕彰を行う制度の追加を提案する。②市民協働の進展で、定年退職後に本市のまちづくりに顕著な活動・貢献された団体があるが、表彰の対象にできないか伺う。

**答** ①「教育・文化・スポーツ等において国内・国外で顕著な成績を修められ、市民の模範となるとともに、後進に勇気を与えられた人を顕彰することは本市の健全な発達を促進するものである」との考えに、全く同感である。顕彰にそぐわない事例もあり制度化は難しい。日本一など顕著な場合は、積極的に検討していく。②市表彰制度は昭和51年創設のため、市民協働による行政経営の概念

はなかった。しかしこの10年間、市民協働の進展とともに、定年退職後ボランティアが急増した。本市のまちづくりに顕著な活動・市民協働の礎を築かれた団体は表彰していく。



#### 文化振興のあり方について

**問** 本市はかつて「教育・文化都市」を標榜し、ひとづくりまちづくりに注力してきた。そのことが、市民協働の先進市となった本市の持ち味である。しかし平成18年、諸施設は指定管理者制度が導入された。各施設の運営の合理性と目的は一定の評価を得ているが、残念ながら、それぞれ分離した状態となってしまった。市民が、よりよく生きるための人づくり・まちづくりにつながる文化振興の在り方を、全庁的に見直す時期に来ていると思慮し、①本市における文化振興について、②「(仮称)大阪狭山市の文化ビジョンを語る会」の設置について伺う。

**答** ①地域固有の文化なくして地域の「らしさ」はなく、豊かな人間性を育むことも望めない。「第四次市総合計画」を基に、人づくりやまちづくりにつながる生活文化、芸術文化の振興を推進する。②指定管理者制度により、効率的運営ができた反面、連携が希薄になり、相乗効果が発揮できていない。提案趣旨を踏まえ、本市の文化振興の中核を担う(財)市文化振興事業団を中心に、施設関係者や文化活動団体、行政担当者が本市の文化振興に向けて話合う機会を設けるよう検討する。

## 代表質問

### 日本共産党議員団

北村 栄司

#### 安全・安心、

#### 災害に強いまちづくりのために

**問** ①現計画以上の地震の可能性もあるため計画の見直し。②避難所となる小・中学校の厨房完備、防災用品の備蓄等の拡充。③マンション対策の位置づけ。④耐震診断補強工事の促進・充実と住宅リフォーム助成制度の設置。⑤住民の救援に働く自治体職員、消防職員の削減にならないよう適正配置。⑥ガスタンクの真下に西小学校などもあるため、危機管理のマニュアルづくりや大阪ガスとの定期協議の場をもつ。等々、安全・安心のまちづくりを求める。

**答** 計画は見直していく。市としては、地域、家族、ボランティアの活動団体、事業所、学校、さまざまな本市にかかわるものすべてを総動員して、防災力を高めていくという工夫を講じていきたい。耐震補強については制度の啓発を行う。また、これ以上公務員を減らすという予定はない。また、大阪ガス、あるいは消防、警察、そして市役所、それぞれがどう対応をするのかなどあらかじめ想定したものが要る。そのため、しっかり話し合いをしていかなければならないと思っている。



#### 原発ゼロをめざし、自然エネルギーへの転換を国に要請を

**問** 原発は、ばく大な「死の灰」

を生み出し、どんな事態が起こっても原子炉内部に安全に閉じ込めておく手段はない。さらに、「使用済み核燃料」を処理する方法もない。ひとたび暴走すれば、コントロール不能に陥る。今の原子力発電は「未完成」で危険なものである。原発ゼロをめざし国への要請を求める。

**【答】** 原発というのが3箇月たっても収束されないというのは、非常に怖いものだとして理解している。原発ゼロというはっきりした言葉は控えるが、将来を見据えた安全なエネルギー政策の転換ということで市長会を通じ要請する。

### 中学校卒業までの医療費助成を

**【問】** 市長マニフェストに加え、今期中に実施を要望する。

**【答】** 府が設置した福祉医療助成制度に関する研究会において、乳幼児等医療費助成制度を含めた福祉医療制度全般にわたる制度のあり方について検討が行われることになっているので、動向を注視していく。

### 高すぎる国民健康保険料の引下げを

**【問】** 一般会計からの繰入れなどで引き下げの努力を要望する。

**【答】** 基礎自治体個々の問題ではなく、国の責任で制度の維持改善に取り組むべきと強く要望していく。

### あまの街道の自然を守るために

**【問】** 鑑定評価額を大幅に上回って購入できないが、最大限の努力で確保できるよう要望する。

**【答】** 適正な価格であれば、用地買収を基本として取り組む。

### 旧府営水道（現大阪広域水道企業団水道）切替えの状況について

**【問】** 切替えの時期は何時か。

**【答】** 平成24年4月当初に切り替えていく。

## 個人質問

### こもだ 育子

#### 高齢者の

#### 肺炎球菌ワクチン接種に助成を

**【問】** 先の3月議会では検討すると答弁であった。市長の所信表明中、ワクチン助成実施とあったが、具体的な時期や助成内容について伺う。また、早期実施を求める。

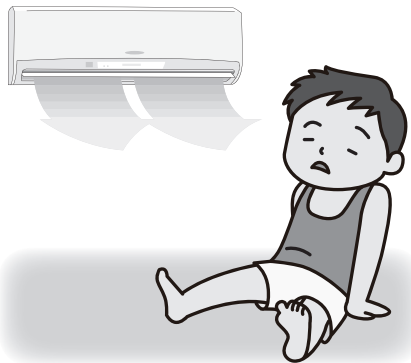
**【答】** 65歳以上を対象とする。助成額は、府内の状況と事業予算から決定する。実施は、平成24年4月が最も早い時期と考えている。

#### 小中学校の普通教室にエアコンを

**【問】** 異常な暑さで教室の温度は40度近くに上る日もある。勉強に集中できるのは25度から28度といわれ、文部科学省の学校環境基準では冬10度以上、夏30度以下が望ましいとされている。学習環境を守るためにエアコンの設置は必要。所信表明で中学校への設置を表明されたが、具体的な計画を伺う。小学校についての考えはどうか。

**【答】** 平成24・25年度の2箇年計画で中学校にエアコン設置、小学校は考えていない。

**【要望】** 小学校低学年は体力がない。生活環境も変わってきている。暑さのために体調を崩したり、健康を損なってはならない。中学校同様、エアコン設置の検討を。



東大池公園を市内南部の防災拠点と位置づけ、避難地として機能整備を

**【問】** 地震発生時の迅速な対応と想定外の状況も考え、現在、さやか公園1箇所の防災拠点を東大池公園も位置づけ、整備してはどうか。

**【答】** 地域の災害対策の充実を図るため、東大池公園を市南部の防災拠点となるよう計画的に整備していく。

### 通学路の安全対策として、大野台1丁目交差点に南北の歩行者用信号を

**【問】** 保護者の声から、実態調査を行い、設置を求めてきた。市から警察に要望するとのことだったが、その後の取組み状況と見通しは。

**【答】** 警察は必要性を認識し、優先して設置を検討しているとのこと。

## 個人質問

### 徳村 賢

#### 災害対策の強化を

**【問】** 避難所となる学校の校庭や公園に防災トイレ設置について見解を伺う。

**【答】** さやか公園内の防災倉庫に、マンホール仕様型トイレや段ボール組み立て式トイレのほか、水なしで汚物を凝固させて処理する簡易トイレなどを備蓄している。

また、今年度から避難所に指定している小・中学校等に、災害用の資機材を分散備蓄する予定。組み立て式トイレなどを新たに備える。

公園への防災トイレについては、さやか公園に15基を設置済みで、同じく1次避難地に指定している東大池公園への設置も計画している。その他の公園についても、災害時の水の確保や下水道管への接続などの課題を整理した上で、規模に応じて防災トイレを設置する方向で検討する。

#### ニュータウンの生活道路改修の推進を

**問** 狭山ニュータウンの住宅地内の生活道路も劣化が目立つ。必要な箇所については早期改修を柔軟に実施するよう要望する。

**答** 車道及び歩道の舗装状況の調査を行っており、これに基づき優先度の高い箇所から順次整備している。

また、危険で緊急を要する箇所については、職員が現地に駆けつけ、簡易的に補修し、対応している。

狭山ニュータウンは、全般的に老朽化が進んでいる。また、当時埋設されたガス管、水道管も経年劣化し、布設替えが必要となってきたため、西山台地区から順次再整備を実施している。

このことから、大阪ガス、水道局による再整備に合わせ、効率的、効果的に舗装等が進むよう調整している。

今後も安全で快適な生活環境の向上のため、道路事業を推進する。



### 個人質問

松尾 巧

#### 保育行政の一層の充実を

**問** 政府は新たな保育制度「子育て新システム」を発表し、2013年度実施をめざしている。①保育所への入所決定は。②収入に応じて保育料が決められているが。③保育時間は。④国が児童1人当たりの施設面積や児童数に対する職員数などの最低限基準を廃止し、自治体任せとするなど、どのように変わるのか。

**答** ①入所は市が保育の必要性を認定し、保護者が自ら施設事業者と契約する。②保育料は保育時間による応益負担制度となる。③保育時間は標準的時間に加え就労時間に応じた段階的な設定。④保育面積や職員配置基準など、国の基準と地方の裁量の範囲は今後の検討課題となる。

**問** 待機児童の解消や新システムによる基準の廃止、公費削減などへの、市の対応と国への要請を伺う。

**答** つぼみ保育園の増築で待機児童は解消。新システムに関しては保育の質が低下しないことや財政措置など国に要望する。

**問** 公・民、安心して預けられる保育所と子育て支援の充実を求め。

**答** 情報交換、交流連携を深め各保育所の質の向上と、地域の子育て支援の充実に努める。



#### 安全・安心なまちづくりを

**問** ①市道廿山高蔵寺線の金剛橋から国道310号までの間。②国道310号の茱萸木、東茱萸木地域。それぞれの歩道整備を求め。

**答** ①整備区間の優先順位を決め、計画的に実施する。②粘り強く大阪府に働きかける。

**問** 大阪狭山市駅南の第3号踏切西側道路の整備を求め。

**答** 隣接地権者との整合が図かれれば整備を進める。

**問** ①金剛駅踏切西の交差点の電柱。②大阪狭山市駅の東40mにある電柱。安全面から移設を求め。

**答** ①移設先や信号機など関係機

関と協議する。②移設先、費用、上空占用などの問題もあり、時間を要するが引き続き移設に向け取り組む。

### 個人質問

山本 尚生

#### 新しい教科書に基づく

#### 学校の取組みについて

**問** 本年度から新学習指導要領による教育が実施される。本市の取組みと保護者や地域への紹介は。

**答** 新学習指導要領は、生きる力という理念を継承し、それを一層育むことをめざしている。学校では子どもの実態を見つめ、時間割等を編成している。保護者や地域へは「さやまの学校」を作成し、積極的に情報発信していく。



#### 高齢者の生きがい対策について

**問** 生きがい、社会貢献を兼ねた高齢者の働く場の拡大への取組みは。

**答** 高齢者のライフスタイルに合わせた就業の場の開拓や市域と共生する事業活動の推進が重要である。高齢者の生きがい作りにつながる新自主事業の立ち上げ等、シルバー人材センターへの助言、支援に努める。

#### 市民情報の保管について

**問** 災害時を想定した情報管理体制は、また、自治体間の共同管理は。

**答** 住民基本台帳等の基幹システムデータは、毎日、バックアップデータを耐火金庫に保管している。今後、災害時に対応した管理体制の強化を

図るため、自治体間との共同管理など、最適な方策を講じたい。

### 府道河内長野美原線の 交通安全対策について

**問** 交差点部分（ガード下）の改良工事の進捗は。また、ガード下から北への先線の交通安全対策は。

**答** 現在、電気設備工事を、6月末から埋蔵文化財調査を行う。ガード下から北への先線は歩道もほとんど整備されてなく、危険である。早急な事業着手を府に強く働きかける。

### 文化財指定行政について

**問** 市民文化の向上に貢献する文化財維持管理への市独自の支援策は。

**答** 現状では補助金要綱以上の本市独自の支援策の構築は大変難しい。引き続き所有者と連携を図っていく。

### 個人質問

林 憲一郎

### （仮称）災害復興支援基金の 設立について

**問** 「義援金」は被災者に直接配分され、「寄附金」は自治体が行う災害復旧等の対策の財源として活用されるとのことである。

大震災発生より時間の経過の中で、義援金について「義援金が、なかなか被災者に渡らない」、「対口支援している大槌町・陸前高田市に直接届けてほしい」など、市民の話題に上ることが多くなった。

この市民目線と実際を組み込むため、災害復興支援に必要な常設の災害復興支援基金設立について、見解を伺う。

**答** 厳しい財政状況が続くことを考慮し、当面は、災害復興支援基金の検討は考えていない。

**要望** 行政を通じ被災地の復興支援をという市民の皆さまの意向を実現

させるべく、指定寄付金などの利用も検討し示していただきたい。

### 今夏の省電対策について

**問** ①家庭でできる節電啓発、行政としてできる節電取組みについて。②省エネルギー普及促進に向けて緑のカーテンの普及、学校での芝生の育成のより良い促進方法について。

**答** ①電力の供給不足が懸念される中、積極的な電力に頼らない生活スタイルへの転換が重要となると考える。広報による節電の呼びかけ、公共施設の節電計画の策定などを行い、電力危機に備えた取組みを推進していく。

②各学校の環境教育活動の展開支援はもちろん、「緑のカーテン設置モニター事業」を実施し、地域として環境負荷の低減が図られるよう努めていく。

**要望** ②「緑のカーテン設置モニター事業」の公表に際し、各家庭での比較コンクールなど、子どもたちも興味を引く内容の検討。また、芝生化について、リサイクルにも有用な水道残渣「あくあふれん土」の利用など、コスト面でもより良い方法の検討を求める。



### 個人質問

丸山 高廣

### 無電柱化について

**問** 電柱による様々な問題などが指摘される中、無電柱化が有効と考えるが、本市の見解を伺う。

**答** 無電柱化は、都市景観の向上、台風や地震などによる電柱倒壊の被害の軽減、安全で快適な通行空間の確保などのメリットがある。

電柱の地中化の場合、初期費用は、1キロメートル当たり4億円から5億円と推測され、電柱設置に比べて数倍から数十倍高い。

今後、国などの財政支援があれば検討していきたい。



### 災害時要援護者支援について

**問** 自主防災組織の強化が求められる中、災害時要援護者支援者台帳の登録者以外の方も地域と行政の情報共有が重要だが、見解を伺う。

**答** 台帳登録者の方への支援は、現在支援体制づくりに向け、ワークショップの開催などを進めている。

登録者以外の方には、事前に担当部署や保健所などが所有する情報をもとに、災害時要支援者対象者リストを作成し、登録を働きかけたい。

### 学校教育への将棋導入について

**問** 伝統文化の一つ、将棋を学校で導入されれば、子どもの育成の一つになると考えるが、見解を伺う。

**答** 伝統文化は、体験を通じてマナーや礼儀、忍耐力や思考力などを習得できるものととらえている。

教育委員会としては、将棋も含む各学校の伝統文化に関する取組みの充実をめざし、支援したい。

### 市内公共施設の敷地内、 終日禁煙について



**問** 公共敷地内でタバコを吸う方やその見た目からも分煙のスペースを確保できないかという声がある。

本市の見解を伺う。

**答** 分煙には、排気設備の整った喫煙室を設けることが必要となり、多額の費用がかかる。

今後、さらに子どもや妊婦等の利用の多い民間施設等の禁煙を進める。

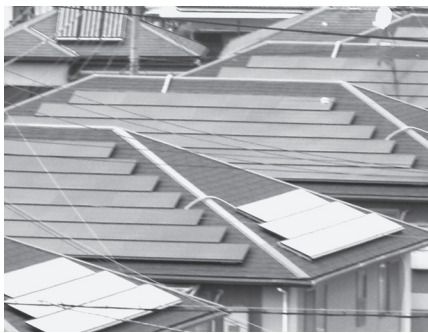
## 個人質問

中井 新子

### 自然エネルギーの確保について

**問** 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、東京電力福島第1原子力発電所が崩壊し、安全対策やエネルギーのあり方が問われている。安全なエネルギーを確保するためには、太陽光や風力、地熱等の再生可能エネルギーの普及・拡大が必要であると国等は推進に取り組んでいる。本市も第四次総合計画・地球温暖化対策ガイドラインにも太陽光発電は有効であると明記されている。推進していくために市独自の制度はどうか。また、公共施設への導入についてはどうか。

**答** 太陽光発電はメリットと共に課題が指摘されており、慎重に検討していく。また公共施設への設置については、LED化や施設の改修時期とあわせ、検討していく。



**要望** 太陽光発電の課題の多い事も認識しているが、21世紀の最重要課題である地球環境問題に対し、住宅用太陽光発電システムは個人の生

活基盤の中で直接参加できる。市民一人ひとりが自然エネルギーに関心をもち、生活の中で実践していける環境整備に努めていただきたい。

### コンビニ等へのAEDの設置について

**問** 本市のAEDは公共施設では39箇所、民間施設では26箇所設置されている。しかし、休日、休館、休業日、また夜間は施錠されているところが多く、緊急であっても使用できない状況である。それらを解消するためには、24時間営業しているコンビニ等への設置が有効であると考えが見解はどうか。

**答** AEDの必要性を考え、充実を図っていく。また、安全・安心スクール等の救命講習も充実していく。

**要望** 設置の必要性を説明し、少しでも設置台数を増やしていただくよう要望する。また、学校等への設置場所も、管理上の問題もあるが、学校解放等で運動場等を利用する市民の安全・安心の確保ができるよう努めていただきたい。

## 個人質問

小原 一浩

### SAYAKAホール前の葬儀会館建設計画について

**問** 南海電鉄が市の中心地に葬儀会館建設を計画しているが、法令違反が無い申請だから市は受理せざるを得ないとの考えのようである。一方、議会では3回の定例議会で継続審査として結論が先送りされている。法令違反の有無の議論だけでは、真のまちづくりは出来ない。行政・議会・市民が一致協力してまちづくりを推し進めるべきだ。この件も絡めて、指導要綱や条例を早急に制定することを要望する。

**答** 葬儀会館建設計画について、

関係グループに照会し意見の集約をしたが、関係法令に適合し、問題が無いので事前協議を終結した。その後、建築確認申請は決裁されているが、南海電鉄と反対の会との間で協議が継続中である。準備を進めているまちづくり条例の中で紛争解決に関する趣旨も含めて検討していく。



### あまの街道沿いの緑の保全について

**問** 狭山ニュータウン建設後に市の西側の丘陵地帯を市街化区域としており、パブル崩壊後にストップしていた造成工事が最近始まっている。先日、あまの街道の実情を見学したが、街道の本市側（東側）は尾根道の間際まで造成が進み、貴重な自然環境が破壊され、造成の為に重機類が唸りを挙げていた。北側の13ヘクタールは市街化調整区域として逆線引きされ、一部は今熊市民の森として市が購入し、緑が保全されたのは幸いであるが、現在造成中の北側は開発業者によって宅地造成される計画がある。この土地に関し、是非とも自然の森として保存してほしいとの1万人以上の署名が集まっている。現時点で未開発の権利者と交渉し、是非ともこの地区での緑の保全を図ってほしい。市内の緑の保全は、その周辺に住む住民だけのものではなく、全市民の問題で予算の関係もあり、交渉も大変だが、根気強い交渉をお願いしたい。

**答** 権利者と交渉する予定。

# 議会改革

6月23日に開催した定例議会本会議において、議員報酬を4%削減することを可決しました。

議員提出議案第2号「大阪狭山市議会議員の議員報酬の額の特例に関する条例の一部を改正する条例」が提出され、全会一致で可決しました。

## 平成23年7月1日から 議員報酬を4%削減しています

平成23年7月1日から平成25年3月31日までの間、議長、副議長及び議員の報酬の額は、議長が月額551,000円から528,960円に、副議長が月額494,000円から474,240円に、議員は月額475,000円から456,000円に、それぞれ4%減額することになりました。

その削減額は、年間約483万円、1年9箇月分の総額は、約814万円と見込まれています。

### 意見書を可決！

東京電力福島第1原子力発電所の事故を踏まえ、原発推進政策の抜本見直しと持続可能な自然エネルギーへの転換を求める意見書を全会一致で可決し、直ちに関係機関へ提出しました。

### 委員会審査の あらまし

議案は常任委員会に付託され審査されました。  
主な内容は次のとおりです。

### 建設 厚生 常任委員会

建設厚生常任委員会は、保健福祉部、都市整備部、市民部（市税に関する事項を除く。）、水道局及び農業委員会の所管に属する事項を所管しています。

**可決** 平成23年度(2011年度)介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

**問** 一般高齢者運動機能向上事業委託料が計上されているが、事業等について伺う。

**答** 要支援・要介護者以外の方を

対象に、ストレッチ等の軽微な運動を中心とした介護予防フィットネス事業を1クール20名で2クール予定している。

**可決** 平成23年度(2011年度)水道事業会計補正予算(第1号)

**問** 送配水管等設備改良費を補正しているが、自己水を旧府営水に切り替えていくための工事費だと思うが、着工時期について伺う。

**答** 平成24年4月1日から旧府営水を給水できるように、本補正予算議決後、速やかに工事を施工したい。

**問** 旧府営水は、そのまま各家庭に送水されるのか。

また、水道料金はどうなるのか。

**答** 旧府営水も自己水と同様、太満池浄水場で水質検査を行ってから各家庭に送水する。

水道料金については、経営努力で現行料金を維持できるよう努める。

### 総務 文教 常任委員会

総務文教常任委員会は、政策調整室、総務部、市民部（市税に関する事項に限る。）、議会事務局、出納室、教育委員会、消防本部、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を所管しています。

**可決** 平成23年度(2011年度)一般会計補正予算(第1号)

**問** 子宮頸がん予防ワクチン接種事業費が計上されているが、内容は。

**答** この予算の補正は、中学1年生から高校1年生までの女子1116人を対象に、3回接種分の経費である。

**問** 災害対策管理事業費で、防災対策のための経費について伺う。

参観に来ませんか？  
議会傍聴も受け付け

# 議会を傍聴 しませんか

9月第3回定例会の日程は、次のとおり予定しています。

## ● 第3回定例会の日程 ●

- 9月1日(木) 開会(初日)
- 12日(月) 代表質問
- 13日(火) 個人質問
- 15日(木) 建設厚生常任委員会
- 20日(火) 総務文教常任委員会
- 26日(月) 再開(最終日)

また、前回の定例会に引続き、透明性のある開かれた議会をめざし、一人でも多くの市民の方々に議会を傍聴していただけるよう、6月6日の午前中に金剛駅西口と大野台のスーパーマーケット前に議員が出向

いて、議会の傍聴を呼びかける活動を行いました。



なお、定例会の日程は8月下旬には確定していますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局では、市民に親しまれるより開かれた議会を推進するため、本市議場の見学などを通じて、市民の皆様に、議会がより身近なものに感じていただきたいと考えています。

# 議員学 場

5月26日に、市立東幼稚園の年長組・年少組の園児たち(116名)が、「地域の施設に興味を持つ」ことを目的として、市役所を訪れました。



議会事務局職員がご案内しますので、団体(個人)・学校などの学習活動に、お気軽にご利用ください。

▲問い合わせ▼ 議会事務局

**【答】** 市内の避難所に分散備蓄するため、倉庫設置と資機材を整備する。

**【問】** 消防の広域化協議会負担金が計上されているが、消防広域化について伺う。

**【答】** 消防本部機能、通信指令業務を効率化させ、各災害に対する初動部隊の強化、消防力の充実強化を図ることを目的に、消防の広域化を進めている。現在、協議会の下部組織である各部会において、あらゆる課題について議論している。

**【問】** 学校評価・支援事業費について伺う。

**【答】** この事業は、学校づくりを応援する事業で、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、学識経験者、校長経験者、市教育委員会の担当者等で組織する応援チームが、年5回程度学校を訪問し、学校運営の改善と発展をめざすためのアドバイスを行う。

今年度は1校で実施する。

**【問】** 中学校区元気あつが事業費に

ついて伺う。

**【答】** この事業は、中学校区の保育所(園)・幼稚園・小中学校の連携をより強め、子どもたちの実態を共通理解したうえで、子どもも教師も元気になる取組みを企画運営するものである。

中学校区の特徴ある取り組みを推進していく事業のための補助金を予算措置した。

## 議会日誌

- ◆ 5月25日
- 議会運営委員会
- ◆ 6月1日
- ◎ 本会議(初日)
- ◆ 6月13日
- ◎ 本会議(代表質問)
- ◆ 6月14日
- ◎ 本会議(個人質問)
- ◆ 6月17日
- 建設厚生常任委員会
- ◆ 6月20日
- 総務文教常任委員会
- ◆ 6月23日
- ◎ 本会議(最終日)

## 議会だよりの表紙写真を募集しています!

- 平成23年11月1日に発行する議会だよりの表紙写真を募集します。市内で撮影されたものを題材としてください。
- ※写真は応募者本人が撮影し、被写体の承諾を得てください。写真(画像)の著作権並びに被写体の持つ諸権利(特に肖像権)に関して、一切の責任を負いません。
- ※写真を必要に応じてトリミング(切り抜き)して利用することをご了承願います。
- 応募いただく写真については、デジタルカメラで撮影したJPEGデータのみ(フィルム写真での応募はご遠慮願います)とし、加工や合成されていないものとします。
- ファイルサイズ(容量)は、おおむね縦3,600ピクセル×横2,400ピクセル(おおむね600万画素以上)のものに限らせていただきます。
- 必ず応募者の住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局までご応募ください。
- 写真(画像)データは返却いたしません。
- 応募締切日は、平成23年10月8日(金)とします。
- 応募が多数の場合、議会だよりの編集委員会で選考し決定します。
- ◎ご不明な点につきましては、議会事務局までお問い合わせください。
- 〒589-8501 大阪狭山市狭山1-2384-1 大阪狭山市議会事務局  
(TEL: 366-0011 (569) メールアドレス: gikai@city.osakasayama.osaka.jp)

# 6月定例会で審議された案件と議決結果

議案名	議員名										議決結果				
	公明	新風	政友	共産	フロンティア	みらい									
議員提出議案	片岡由利子	小原一浩	諏訪久義	西尾浩次	山本尚生	北村栄司	薦田育子	松尾巧	田中昭善	中井新子	西野榮一	丸山高廣	鳥山健	林憲一郎	可決
人事議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査
要望	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査
意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

(議長につき、採決に参加なし)

※表の見方 会派名及び議員名は、会派名とともに50音順。公明…公明党、新風…新風会、政友…政友会、共産…日本共産党議員団、フロンティア…フロンティアネット、みらい…みらい創新。『○』は賛成・採択、『×』は反対・不採択、『△』は継続審査。